

## 活かす通信

2003年3月(188号)

<http://toushi-club.com>

★★

巻頭言 元時事通信記者 篠田憲明

### 「サミットファースト」で首相退陣の局面なし

★★

また、岸田文雄首相は目下、防衛費の大幅増加や新型コロナの「5類移行」に対する与野党の調整や北朝鮮の大陸間弾道ミサイル(ICBM)発射に伴う日本排他的経済水域(EEZ)着水、さらにはここに来て「LGBT理解増進法」の今国会成立など、内外の課題に取り組んでいるところだ。特に首相としては「G7(先進7カ国首脳会議)議長国」として、KGTB法のないのはG7国はわが国だけ」とサミット前の同法成立を期待している。首相周辺は「圧倒的な国民支持が多い法案に対して、反対派も次の選挙のことを考えて強硬に反対するのを避けるはず」との見方だ。また、岸田首相は「ウクライナのキーエフ訪問・ベレンスキー大統領との電撃会談の可能性」を探るなど、どうやら「広島サミットファースト」のようだ。

内閣支持率は昨年支持率は低位のまま。しかし、荒井勝喜首相秘書官(当時、更迭)による「1GTB批判」にも拘わらず、一部には下げ止まり予想するところもある。更に「異次元の少子化対策」を打ち出し、今年6月までに具体策を出すと表明した。この具体策は予算を伴うのは確実であり来年度から「後期高齢者の年金資金を削る」施策を考えているという。この考えも国民に議論を呼びかけるのではなく、首相が念頭に置いている「防衛予算や異次元の少子化対策」表明に関しては党内では「国民から税金をお願いするなら、衆院を解散して国民の信を問うべきだ」と騒ぎ立て、政府首脳が「衆院の解散の権限は内閣総理大臣だけにある」とくぎを刺しても止まりそうもない。政府は5月の連休から「新型コロナを現在の2類相当を5類に移行させる」方針だが、何かと反岸田と言われる菅義偉前首相も19日、「賑わいのある日常の回復に向けて大きな第一歩が踏み出させる」と評価する演説をした。これも茂木敏允幹事長とか、河野太郎デジタル担当相の名前は上がるが、「総理・総裁候補足りえる人材」が払底している自民党の事情から、菅前首相が岸田首相が岸田首相の手に

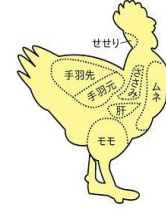


## 21世紀はカレーの時代です。



インド経済の5つの基本スパイス

1. 人口
2. 経済力 (内需、技術力)
3. 軍事力
4. 国際的な影響力
5. 文化力



18

そして、インドです。少し無理がありますが、国土の形はカレー料理についてくるナンに似ていませんか。インドは、その言語や宗教などの多様性のため、纏まりにくいバラバラな印象の国です。しかしこれからは、その多様性こそガラムマサラのようなベースとなり、インドの経済は国際的な影響力を強めていくでしょう。21世紀はスパイシーな時代になります。

★★

### ムッシュ望月の今月の相場展望+映画

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★

#### 1, 相場展望：懐疑の中で育つ

相場展望：「不安の壁を登る、懐疑の中で育つ」

最近の相場は、上値を追うにはエネルギーが不足しているようだ。昨年10月3日に安値25621円を付け、その後11月24日に高値28502円を付けている。上昇率は11.2%、上昇幅は2881円で、上昇期間は52日間である。今回の1月からの上昇は、1月4日安値25661円、その後の高値は2月6日27821円、上昇率は8.4%、上昇幅は2160円で、上昇期間は33日と短く、まだ強いトレンド入りを示す兆候は見られない。もう一つのポイントは昨年の高値29222円、21年9月18日の高値30795円をつなぐラインはまだ下降トレンドライン内の動きに過ぎない。安値は2022年3月12日の24681円、同年6月25日の25520円、同年10月8日の25621円、2023年1月7日25661円と、米金利上昇に伴う下落

のような悪材料にも下値の固さが見られる。米金利上昇(FF金利引き上げ0.25%)の始まる昨年3月21日と最安値は同じ時期であるのは株の先見性を示したものといえよう。現在の状況は、米国の金利引き上げの最終局面にあり、3月21、22日のFOMCでの引き上げ幅を予想が交錯している。0.25%を最後に引き上げが終わるのか、まだインフレ率が高止まりしているので0.5%引き上げに転じるのか、年内には景気減速による引き下げがスタートするのか読めない状況にある。中国のゼロコロナ解消に伴い、世界の景気も上方修正の可能性がみられだし、景気の先行指標とされる銅価格も原油価格も上昇に転じていることもあり、インフレは簡単に収まらないとの説が強まりつつあり、当面は米国の雇用統計やインフレ率の動向を見守る局面、相場格言にある「節分天井、彼岸底」と言えそうである。本格的な春を迎えるにはまだ早いかもしれないが、新しい芽が出始めるタイミングが近いとも言えます。外国人投資家は今年の売りは控え目、買い越し傾向は続くと考えます。大手企業の従業員給料平均5%引き上げの流れ、政府主導による設備投資、新しい日本の顔を見たいものである。

今月の映画：モリコーネ

1月は12本の映画、韓国映画「非常宣言」、「名探偵コナン」、英映画「ドリームホース」、「近江商人」、「仮面ライダー」、「嘘八百」、「離ればなれになっても」、「そして僕は途方にくれた」、「イケイケのカラス」、米映画「She said」、米映画「モリコーネ」、「まくをおろすな」を観ました。「非常宣言」「ドリーム」「イケイケのカラス」「モリコーネ」「She said」の5作品が印象に残りました。今回は、映画を愛した音楽家(マエストロ)の音楽ドキュメンタリーを紹介します。エンニオ・モリコーネは、2020年に逝去した映画音楽の巨匠、91歳で亡くなるまでに500作品以上の映画とテレビの音楽を手掛けました。アカデミー賞には6度ノミネートされ「ヘイトフル・エイト」で受賞し、全功績を称える名誉賞にも輝いている。そんな伝説のマエストロに、弟子であり友でもあるジョゼッペ・トルナトーレ監督が生前の姿を捉えるドキュメンタリー映画を完成させました。自身の回想シーンでは、かつては映画音楽の芸術的地位が低かったため、幾度もやめようとした衝撃的な事実を告白しています。この映画を通じて数々の傑作映画の名場面を思い出し、その場面に流れるモリコーネのメロディーに浸ってみませんか。1964年の「荒野の用心棒」、1965年の「夕陽のガンマン」、1971年の「死刑台のメロディー」、1986年の「ミッション」、1989年の「ニューシネマ・パラダイス」、2015年の「ヘイトフル・エイト」が映画に登場します。マカロニウエスタン「荒野の用心棒」の登場により西部劇の世界が大きく変わりました。この映画に影響を与えたのは1961年の黒澤明監督・三船敏郎主演の時代映画「用心棒」でした。映画って良いですね！！

★★

## 23年3月以降のイカスのイベント情報

★★

### 株式投資勉強会：

23年03月のイカス倶楽部スケジュール（2023年2月20日）

03月01日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所

03月02日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所

03月14日（火）：16：00～サロン・ド・望月（株式投資）イカス事務所

03月18日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所

03月23日（木）：15：00～東京3Eクラブ、イカス事務所

下線のイベントは自由参加です。参加費：3000円

### イカス（活かす）のイベント：

第39回：イカス夏の交流会：2023年6月8日午後6時、外国特派員協会、

司会：三宅あみ氏、ミニコンサート：オペラ歌手：首代明子氏

基調講演：慶応義塾大学名誉教授 池井優氏「語られなかった戦後日本外交」

サロン・ド・知久（交流会）：参加費2000円、特番は3000円

第14回：23年3月17日（金）：18：00～21時、倶楽部エル

カラオケ会、3時間、懐石料理＋飲み放題、6500円

特番：03月11日（土）、04月08日（土）：14：00～16：00、イカス事務所

講師：入鹿山剛堂氏（発明家）「進撃のメタバース」

第25回：23年03月28日（火）：14：00～16：00、イカス事務所

講師：Mr カラー マジックショー

特番：23年06月15日（木）：14：00～16：00、イカス事務所

講師：築野友衣子氏 フランス語の紙芝居、3000円

第28回：5月15日：横浜を歩く会（英国庭園）

講師：三宅あみ氏（三越カルチャースクール等で活躍）

NPO イカス：東京都港区新橋3-16-12 横山ビル6F

[info@toushi-club.com](mailto:info@toushi-club.com) <http://www.toushi-club.com>

☆「10代で身につける株式投資の基礎知識」電子書籍発売中、楽天等

**★有料メルマガ毎週（日）配信中、年間24000円、3ヵ月6000円**

**★勉強会年会費振込先：三菱UFJ銀行、新宿中央支店、普通5313550**

特定非営利活動法人イカス

**★毎日ツイッター更新：望月純夫（証券歴50年、モーニングサテライト等**

[info@toushi-club.com](mailto:info@toushi-club.com) <http://www.toushi-club.com>